

令和2年度第5回
行政改革推進委員会議事録

日 時	令和2年12月11日（金） 14:00～14:30
場 所	南島原市役所 西有家庁舎3階 大会議室
出席者	委 員 隈部 太洋、岸本 尚子、松崎博文、梶原 正興、 小玉 康代、相良 哲春、西田 由里子
	市 川島総務部長
事務局	財政課：米田財政課長、隈部政策班長、今利

発言者	発 言 内 容
事務局	ただ今から、令和2年度第5回行政改革推進委員会を開催する。 本日、松本委員と隈部恵委員、長池委員は欠席の連絡があっている。 さっそく議事に移る。
会長挨拶	「南島原市行政改革推進委員会条例」の第5条により、「会長が議長となる。」と定められているので、隈部会長にご挨拶と、その後の議事の進行をお願いします。 皆さんこんにちは。 今回の議事は、前回に引き続き市長からの諮問に対する答申書についてとなっている。 今年度の委員会では、第4次行政改革大綱及び集中改革プランについて、大綱の方向性や集中改革プランの取組項目など、4回にわたる協議を行ってきた。次回には市長への答申が控えており、本日が最後の協議となる。 そのため、本日の委員会で答申内容を固めたいと考えているので、前回からの修正点について確認していきたいと思う。議事の進行がスムーズにいくよう、皆さまのご協力をお願いします。 それでは「第4次行政改革大綱で取り組む事項に関する答申（案）について」を議題とする。
事務局	事務局に説明を求めまる。 ＜議題（1）の説明＞
会長	答申（案）における「前回からの変更箇所」について、気づきの点などあれば、挙手をお願いします。
委員	今回は答申の最終案の協議だと思うが、これまでいろんな委員さんから意見が出た。その後、見直しや修正などがあり事務局は大変だったと

	<p>思う。最終の答申案は、一通り目を通したが、概ね申し分のないものだと思う。ただ、一点だけ申し上げると、4ページの(1)行政手続きのデジタル化について、本日の新聞でマイナンバーカードの免許証との一体化が2024年度末に開始となり、全国自治体の台帳システムや税システムが行革の期間内に標準化されるとあった。そういった最新情報の表現を少し加えた方が良いのではないかと私は感じた。国の動向に注視といったざっくりとした表現はされているが、ある程度国から今後の方針が公表をされたという事であれば、追加したほうが良いのではないか。</p>
財政課長	<p>国の行政デジタル化については、日々新しい情報が発信されている状況。そのため、国の動向に注視しつつといった表現にとどめている所。行政サービスであるシステムの統一化等いろいろと案件があるが、もう少しするとまた進んだ話が出てくるかもしれないので、今後の国の情報を見極めながら、加筆するべきところは加筆していきたいと思う。</p>
委員	<p>不透明なところもあると思うので、出来る範囲でいいと思う。</p>
委員	<p>1つ目に、注記の字が小さいかと思うので、もう少し大きくしてほしい。次に、2ページの地域協働の推進の3行目にある「互いに補い力を合わせて」という文章が長いので、「互いに補い、力を合わせて」としたほうが良いのではないか。次は、4ページの行政手続きの「紙から電子への転換」の部分を「『紙』から『電子』」としたほうがより、強調されるのではないか。</p>
財政課長	<p>注記の字の大きさについて、もう少し文字サイズを大きくすることは可能なので、修正したいと思う。「、」や「『』」の表現については、適切な部分もあるかと思うので、その部分を修正したい。</p>
会長	<p>第4次行政改革大綱で取り組む事項に関する答申(案)については、この辺で終了する。</p> <p>本日の議題については以上だが、事務局より、本日の会議結果の取り扱いについて説明がある。</p>
事務局	<p>本日、ご協議いただきました議題につきましては、委員の皆さんから頂きましたご意見などとともに、市のホームページへ内容と本日の会議の概要を掲載いたしますのでお知らせする。</p>
会長	<p>以上で、本日予定していた議事はすべて終了した。進行を事務局へ返す。</p>